

FAVORITE
POINT



天井まで続くオリジナルのタンス

アトリエの入り口にある、お仕事で使用する和紙や布を保管するためのタンス。使い勝手はもちろん、浅い引き出しが天井まで続くさまも美しい。



HOUSE DATA ●所在地：北杜市 ●家族構成：大人1人
●間取り：3LDK ●竣工：2018年12月



玄関から続くシューズクローゼット。靴や雨具、畑仕事の道具など、たっぷり収納できてとても便利。



すっきりとした玄関。ダイニングとの間を隔てる引き戸には、古家にあったアンティークのガラスを使用。



玄関ドアはオリジナル。ダークな壁とのコントラストも素敵。チャイルドワリのドラムもオシャレ。



閃きと、不思議な縁に導かれ：

ずっと田舎暮らしをしたかったと話す東京育ちのI様。「とりわけ時代を経た建物が好きで、できることなら古民家をリノベーションして住みたいなあと思っていました」。実家からの便を考え、千葉や茨城、神奈川など広く探すなか、この土地と出会ったのは2年前の夏。「来てみると、鬱蒼とした林のなかにほわっと明るい空間があつて、離れと物置と母屋からなる古い家が建っていました」。その瞬間、何かが閃き不思議な縁も感じて、ここに住もうと決めたという。

「初めて高橋さんのモデルハウスをお訪ねしたときのこと、今もよく覚えています。ドアを開けた瞬間ふわっと木の香りに包まれて、なんとも言えない幸せな気持ちになったこと。5本指ソックスを履いて笑顔で現れた初対面の高橋さんに安心感を抱いたこと。そして、裸足で歩いた床の気持ち良さ、無垢材と天然素材で作られた家のこころ良さ。時間を忘れて、新建材を使用しない家を作るようになった経緯や木の話の伺いながら、この方は本物だ！と感じたこと…。そして何より、家づくりに、唯一無二の日本の伝統工法の良さと、最新の技術をうまく取り入れているところが私の意向や嗜好とぴったりあうと確信できたことで、施工をお願いすることにしたのです」。

こうして始まった、I様の家づくり。当初は古家をリノベーションするつもりだったが、インスベクションをすると、外見からは想像できないほど虫に食われて痛みがひどく、土台にもガタが来ていることがわか

恋焦がれた木の家で、
念願のいなか暮らし、始めました

壁や天井の木の節を見るのが楽しくて、裸足で歩くのが嬉しくて…
伝統工法で丁寧に作られた本物の木の家で、のびやかに暮らす幸せ。



り、使える材を用いての新築に方向転換。快適に暮らせるようプランを練りつつ、家を覆うように立っていた木々を伐採し、古家を取り壊して、完成まで約1年。I様が引越してきたのは、平成最後の年の瀬も迫る12月26日のことだった。



周囲の自然に溶け込んだ、美しく快適な平屋づくりの家

高原の風に揺れる木々に囲まれ、凜と佇むI様邸。外壁は、日本の伝統工法の一つである下見板張り。杉板に鉋物とハーブを原料とする塗料を施し、古民家風に仕上げた。対して玄関ドアは白木。そのコントラストも美しい。前に立ちチャイム代わりのドラを叩くと、良い音が響いて晴れ晴れとした気持ちになる。

一方室内は、ダイニングキッチンを挟んで、アトリエと、客間にもなる和室が配され、天井が高くとても気持ちがいい空間が広がっている。壁は調湿作用に優れた珪藻土。漂う木の香は、床や天井、キッチンカウンターをはじめとする作り付けの家具など、ふんだんに使われている国産材からもたらされるのだろう。身を置いていると、心が穏やかになり、寛いだ気分になっていく。

天井には古木の梁が2本。独特の存在感を示し新しい家に重厚感を与えている。聞けば、玄関の引き戸のガラスや、和室の襖の組細工のガラスなど、古家にあった材がそこかしこで活躍しているという。



夢だった木の家で過ごす、心ときめく毎日

「この家に住まうようになって半年近く。日々新たな発見があり、ワクワクしています」と、声を弾ませるI様。「星空の美しさ、夜の暗闇や、満月の明るさ、朝は朝で、鳥の鳴き声やその日の空気感…。最近はお天気の変化も肌で感じられるようになって、感性が鋭くなってきたのかな」。I様のお仕事は、書画を掛け軸や屏風、盾などに仕上げる表装と、絵画や写真を額に収める額装。センスが求められる仕事だけに、この環境がどのような影響を与えるのか今後の作品に期待が膨らむ。

「施工中は度々訪れ、大工さんとも直接お話をさせていただきました。いただいたのですが、その度に、家に対する愛情と真心を持って仕事に取り組み姿に感銘を受け、感謝の気持ちでいっぱいになりました。この家は、住んでいると、ふとしたときに温かみを感じられて、やっぱり手作業は違うなあと感じます。以前は古民家への憧れと拘りがあったのですが、高橋さんが、お眼鏡にかなった国産材を使い、伝統工法でピシッと作って下さったこの家は、50年100年と時を経て、やがて古民家になっていくはず。そう考えると、やっぱり建ててよかつたんだなあ。私は、大人も子どもも裸足で歩ける家と庭にして、都会で育つ甥や姪をはじめ多くの方々がこの家の良さを味わっていただきたいと思っていますんです」。

障子を通して差し込む柔らかな初夏の日差し。笑顔が眩しく輝いていた。

願いはひとつ、家族のしあわせ

ご家族の思いや暮らしのあり方と真正面から向き合い、「どれだけ幸せに住み続けていただけるか」を大事に考え、
“本当に必要な家”をご提供することに努力しています。

お客様のライフスタイルにあわせた2タイプをご用意。
すべて完全自由設計でプランニングします。

無垢デザイン

ティンバーフレーム
デザイン

もっと詳しく知りたい方は

有限会社 高橋建築舎

山梨県北杜市大泉町西井出8240-6959 TEL 0551-38-8151 / FAX 0551-38-3979

表装デザイン研究所 八ヶ岳支部/アトリエ泉

詳しく知りたい方は

1. 大きな作業台が目を引き、広く明るいアトリエ。刷毛や定規などの仕事道具は、オリジナルの棚にかけてすっきりと収納。
2. 性能はもちろん、インテリアとしても魅力的なイタリア製のベレットストーブ。
3. 周囲の景観と調和した、自然なたたずまいのI様邸。
4. 日向ぼっこに最適な広い縁側。
5. 手の込んだ細工のガラスは、古家にあったもの。和室の襖に枠ごと嵌め込み、良い雰囲気。床の間には、自作の軸と季節の植物を飾って。
6. 両側にびっしり棚を設けた、収納力たっぷりの納戸。
8. お気に入りの作家のリトグラフを、モダンなテイストで表装したI様の作品のひとつ。
9. お仕事中的I様。障子を通して穏やかな自然光のおかげで、細部までよく見えて仕事しやすいという。